

令和6年

火災・救急の概況

火 災

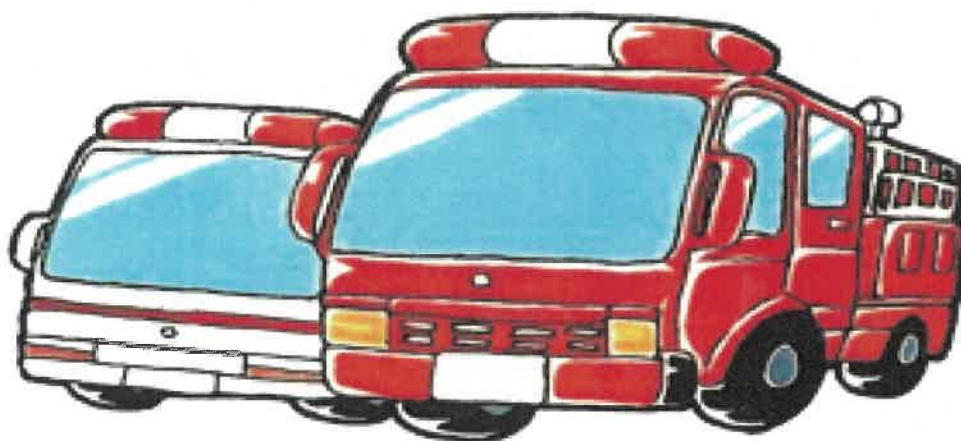
17件

大洲市 13件
内子町 4件

救 急

3,955件

大洲市 2,958件
内子町 991件
管轄外 6件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



火災の概況

1 火災概要（1表）

令和6年中に組合管内で発生した火災は17件で、建物焼損棟数12棟、建物焼損床面積228㎡、林野焼損面積4a、死者3人、負傷者数2人、り災世帯数9世帯、り災人員15人、損害額6,055千円である。

前年と比較すると、死者数は2人増加している。出火件数については変わりなく、焼損棟数は7棟減少、建物焼損床面積は794㎡減少、林野焼損面積は1,324a減少、り災世帯数は1世帯減少、り災人員は11人減少、損害額は194,029千円減少している。

2 出火件数

出火件数は17件で、前年と同数であった。1ヶ月あたり1.4件の割合で火災が発生している。

(1) 市町別出火件数（2・3表）

市町別出火件数は、大洲市13件（内訳：大洲9件、長浜4件、肱川0件、河辺0件）、内子町4件（内訳：内子2件、五十崎2件、小田0件）である。

(2) 火災種別（2・4・10表）

火災種別にみると、建物火災が10件（全火災の58.8%）で最も多く、その他の火災が5件（29.4%）、林野火災及び車両火災が各1件（それぞれ5.9%）である。

なお、建物火災10件を用途別にみると、住宅（併用含む）が7件、作業場・工場、倉庫、店舗が各1件である。

(3) 四季別出火件数（5表）

四季別出火件数は、春季における火災が6件、夏季、冬季が各5件、秋季が1件の順となっている。

3 出火率（6表）

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は3.16件であり、令和5年と比べると0.07件増加している。

4 損害額（1・7表）

損害額は、6,055千円で前年より194,029千円減少している。内訳は、建物の損害額が大半を占めている。また、1件あたりの損害額は、約356千円であり、前年の11,770千円と比較すると11,414千円減少している。

5 出火原因（8表）

出火原因別にみると、出火件数17件のうち、「不明」が5件で最も多く、「たき火」が3件、その他の原因が各1件である。

6 初期消火対応（9表）

出火件数17件のうち初期消火を試みたものは15件あり、このうち初期消火の効果があつた火災は8件である。

また、消火器具別に効果のあつたものは「消火器」が4件と最も多く、「水道、浴槽等の水をかけた」が2件、「水バケツ」「その他」が各1件である。

7 死傷者（1・11表）

火災による死傷者は、死者が3人で、前年に比べ2人増加している。また、負傷者は2人で前年に比べ2人減少している。

8 まとめ

以上、令和6年中の火災概況であるが、昨年と比較すると出火件数は同様であつた。

出火原因については、「不明」を除き、「たき火」が3件で最も多いことから、屋外での火気の取扱いや注意が不十分であつたことが考えられる。

火災は、人々の不注意によって起きる割合が大きいため、住民に対して、火気を取り扱う際の消火用具の準備や、風の強い日や空気が乾燥している日には、より一層注意することを強く呼びかける必要がある。

建物火災についても、死傷者数の減少や被害の軽減を図る必要がある。効果的な初期消火の実施や逃げ遅れの防止のためにも、自主防災組織等の協力を得て、住民を主体とした防火講習会や防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図るとともに、住宅用火災警報器の設置、維持管理を強く呼びかけていく必要がある。

※ 数値については、速報値で計上しています。

1表 火災の概況

区 分	単位	令和6年	令和5年	増減数
出 火 件 数	件	17	17	0
建 物	〃	10	9	1
林 野	〃	1	1	0
車 両	〃	1	2	▲ 1
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	5	5	0
焼 損 棟 数	棟	12	19	▲ 7
全 焼	〃	3	10	▲ 7
半 焼	〃	1	1	0
部 分 焼	〃	1	7	▲ 6
ぼ や	〃	7	1	6
建物焼損床面積	m ²	228	1,022	▲ 794
建物焼損表面積	m ²	2	285	▲ 283
林野焼損面積	a	4	1,328	▲ 1,324
死 者	人	3	1	2
負 傷 者	〃	2	4	▲ 2
30日死者	〃	0	0	0
り 災 世 帯 数	世帯	9	10	▲ 1
全 損	〃	2	4	▲ 2
半 損	〃	0	1	▲ 1
小 損	〃	7	5	2
り 災 人 員	人	15	26	▲ 11
損 害 額	千円	6,055	200,084	▲ 194,029
建 物	〃	5,843	192,953	▲ 187,110
林 野	〃	0	5,713	▲ 5,713
車 両	〃	60	1,418	▲ 1,358
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	152	0	152
爆発損害額	千円	0	0	0

※ ▲は減

2表 市町別火災状況

区分 市町別	火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額(千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積(m ²)	建物表面積(m ²)	林野(a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち建物損害
大洲	9	7	0	0	0	2	40	1	0	0	0	0	7	6	2,663	2,562
長浜	4	2	0	0	0	2	37	1	0	1	0	0	3	1	238	207
肱川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	13	9	0	0	0	4	77	2	0	1	0	0	10	7	2,901	2,769
内子	2	0	1	0	0	1	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0
五十崎	2	1	0	1	0	0	151	0	0	2	1	0	2	2	3,154	3,074
小田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	1	1	1	0	1	151	0	4	2	2	0	2	2	3,154	3,074
合計	17	10	1	1	0	5	228	2	4	3	2	0	12	9	6,055	5,843

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和 6年	大洲	1	0	3	0	1	0	2	0	0	0	1	9
	長浜	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	肱川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内子	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	五十崎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	小田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	4	1	1	1	2	2	0	1	0	17	

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和 5年	大洲	2	1	2	1	1	0	0	1	1	1	1	11
	長浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	肱川	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五十崎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小田	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	2	1	5	2	2	0	0	0	1	1	2	17	

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	令和6年	令和5年
建 物 火 災	58.8	52.9
林 野 火 災	5.9	5.9
車 両 火 災	5.9	11.8
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	29.4	29.4
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	令和6年				令和5年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額(千 円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	6	35.3	433	36.0	9	53.0	143,020	71.5
夏 季 6月～8月	5	29.4	0	29.0	0	0.0	0	0.0
秋 季 9月～11月	1	5.9	3,205	6.0	4	23.5	9,843	4.9
冬 季 12月～2月	5	29.4	2,417	29.0	4	23.5	47,221	23.6
合 計	17	100.0	6,055	100.0	17	100.0	200,084	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数	
		令和6年	令和5年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	3.16	3.09	0.07	
	出 火 件 数	17	17	-	
	□うち建物火災	10	9	1	
	人 口	53,748	54,949	▲ 1,201	
	世 帯 数	26,421	26,664	▲ 243	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	2.86	3.44	▲ 0.58
		出 火 件 数	9	11	▲ 2
		□うち建物火災	7	6	1
		人 口	31,360	31,947	▲ 587
	世 帯 数	15,454	15,536	▲ 82	
	長 浜	出 火 率	7.37	1.79	5.58
		出 火 件 数	4	1	3
		□うち建物火災	2	0	2
		人 口	5,427	5,597	▲ 170
	世 帯 数	2,875	2,935	▲ 60	
	肱 川	出 火 率	0	5.57	▲ 5.57
		出 火 件 数	0	1	▲ 1
		□うち建物火災	0	0	-
		人 口	1,744	1,794	▲ 50
	世 帯 数	851	877	▲ 26	
	河 辺	出 火 率	0	0	-
		出 火 件 数	0	0	-
		□うち建物火災	0	0	-
		人 口	509	529	▲ 20
	世 帯 数	318	329	▲ 11	
内 子 町	内 子	出 火 率	2.45	0	2.45
		出 火 件 数	2	0	2
		□うち建物火災	0	0	-
		人 口	8,168	8,388	▲ 220
	世 帯 数	3,822	3,867	▲ 45	
	五 十 崎	出 火 率	4.22	2.07	2.15
		出 火 件 数	2	1	1
		□うち建物火災	1	1	-
		人 口	4,738	4,822	▲ 84
	世 帯 数	2,111	2,112	▲ 1	
	小 田	出 火 率	0	16.02	▲ 16.02
		出 火 件 数	0	3	▲ 3
□うち建物火災		0	2	▲ 2	
人 口		1,802	1,872	▲ 70	
世 帯 数	990	1,008	▲ 18		

※ ▲は減

※ 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損 害 額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475
令和元年	14	29,927	2,138
令和2年	25	67,661	2,706
令和3年	29	66,708	2,300
令和4年	33	98,000	2,970
令和5年	17	200,084	11,770
令和6年	17	6,055	356

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
た き 火	3	17.66	198	3.27
排 気 管	1	5.88	60	0.99
ボ イ ラ ー	1	5.88	18	0.29
風 呂 か ま ど	1	5.88	200	3.30
電 気 ス ト ー プ	1	5.88	7	0.12
火 の つ い た 油	1	5.88	0	0.00
火 の つ い た ゴ ミ	1	5.88	0	0.00
そ の 他 の 裸 火	1	5.88	10	0.17
枯 れ 草 焼 き	1	5.88	101	1.67
そ の 他 の 火 の 粉	1	5.88	10	0.17
不 明	5	29.42	5,451	90.02
合 計	17	100.00	6,055	100.00

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

消火器具別 効 果			屋外消火 栓設備	消火器	寝具、衣 類等を かけた	水道、浴 槽等の水 をかけた	水バケ ツ	もみ消 した	その他	合計
効 果 有			0	5	0	1	1	0	1	8
効 果 無			0	1	0	2	1	0	3	7

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年 別	住宅 (併用含む)	作業場 工場	倉庫	共同住宅	店舗 飲食店	その他	合計
令和6年	7	1	1	0	1	0	10
令和5年	4	3	1	1	0	0	9

11表 死傷者の区分

区 分	死 者	負 傷 者	30日死者
消 防 吏 員	0	0	0
消 防 団 員	0	0	0
応急消火義務者	3	2	0
消 防 協 力 者	0	0	0
そ の 他 の 者	0	0	0
合 計	3	2	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況

急な「病気」や「けが」で、
救急車を呼ぶ？ 病院に行く？ 迷った時に！

えひめ 救急電話相談



お腹痛いんやけど、
救急車呼んでも
いいんやろか？



熱が下がらんよ、
病院に行ったほうが
いいかな？



家で様子を見る時、
応急処置は
どうすればいい？

こんな時には
#7119に
相談してね



愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」





★電話相談は、次の番号へ

電話番号	通話費用(発信側)について
① #7119	<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話(NTTドコモ回線・楽天回線) ● 固定プッシュ回線 } 通話料無料 ● 上記以外の携帯電話回線: 県内通話料有料
② 0120-79-7119	フリーダイヤル(通話料無料)
③ 089-909-9935	県内通話料有料

詳細はコチラ >>
[\(このリンク先を開く\)](#)

365日24時間対応



看護師等(医療の有資格者)が相談対応
相談者の不安を和らげ、適切な医療へ円滑に
お繋ぎするため、助言等をさせていただきます。

【利用上の注意】 救急電話相談は、相談者の参考としていただくものであり、医療行為ではありません。

愛媛県

令和6年の救急概況

1 救急業務状況（1表）

令和6年中における救急業務の実施状況は、出場件数3,955件（前年比429件増）、搬送人員3,733人（前年比434人増）であり、前年と比較して出場件数、搬送人員ともに増加している。

また、組合に配置している救急車6台すべてが高規格救急車であり、すべてに救急救命士が出動している。

2 事故種別救急概要（2・3表）

事故種別出場件数は、急病2,406件、その他（主に転院搬送）667件、一般負傷615件で出場件数の9割以上を占めている。前年と比較すると、急病278件、一般負傷70件、交通事故38件、その他54件が増加しており、労働災害5件、運動競技2件、水難4件が減少し、自損行為、加害、火災については変わらない。

3 市町別救急業務状況（4表）

市町別救急件数は、大洲市が全体の74.7%（2,958件）、内子町が25.1%（991件）、管轄外が0.2%（6件）である。

内訳は、大洲2,303件、長浜459件、肱川160件、河辺36件、内子609件、五十崎256件、小田126件、管轄外6件である。

4 時間帯別救急状況（5表）

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が午前10時から12時の間の575件であり、逆に少ない時間帯は、午前2時から4時の97件である。午前と午後で比較すると午前が1,722件、午後が2,233件と午後の方が件数が多い。

5 月別曜日別救急状況（6表）

月別の救急件数は、8月の419件が最も多く（前年は8月の373件）、最も少ない月は2月の272件（前年は3月、5月の253件）である。

また、曜日別の救急件数は、月曜日の681件が最も多く（前年は月曜日の611件）、最も少ないのは金曜日の522件（前年は水曜日の431件）である。

6 応急処置状況（7表）

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、その他の応急処置（検温等）、保温の処置が多い。

救急救命士が行う救急救命処置は、器具を使用した気道確保のうち、ラリソングアルマスク等を用いた気道確保32件、気管挿管13件を実施。心肺機能停止後の静脈路確保42件、うち薬剤投与を29件実施している。

また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は13件、血糖測定は41件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は13件である。

7 医療機関別搬送人員状況（8表）

収容医療機関の状況は、搬送人員の77.8%（2,903人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、99.2%（2,880人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は830人であり、その43.5%に当たる361人の事故種別はその他（主に転院搬送）によるものである。

8 市町別人口割救急出場状況（9表）

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生件数を比較すると、最も発生件数が高いのは肱川の92件、次いで長浜85件、内子75件、大洲73件、河辺71件、小田70件であり、最も低いのは五十崎54件である。

9 高齢者事故種別搬送人員状況（10表）

高齢者（「年齢65歳以上の者」をいう。）に関する救急状況は、搬送人員2,800人で昨年に比べて320人増加しており、全搬送人員の75%を占めている。

また、事故種別でみると、急病1,725人、その他（主に転院搬送）503人、一般負傷471人の順である。

10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況（11表）

高齢者における急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系の233人（13.5%）が最も多く、次いで心疾患が200人（11.5%）、消化系155人（8.9%）、脳疾患134人（7.9%）の順である。

1 1 まとめ

救急出場件数が過去最多を更新した。その要因として、猛暑による熱中症や高齢者の救急要請、医療機関間による転院搬送が多くなっている。また、近年は高度医療機関へ搬送する手段としてドクターヘリの要請件数も増加している。

搬送人員も増加傾向で、救急車による搬送人員は3,733人となっており、この中で特に、65歳以上の高齢者が2,800人と全体の75%を占めており、比率が高い傾向が続いているため、重症化するまでにかかりつけ病院への受診を呼びかけていく必要がある。

以上のことから、住民に対して救急車の適正利用について、救命講習会や広報媒体等を活用し#7119などの利用を呼びかけるとともに、消防と医療機関の連携を強化し、多くの命が救えるよう救命率の向上に努めたい。

※ 数値については、速報値を計上しています。

1表 年別救急業務状況

区分 年別	出 場 件 数						搬 送 人 員					
	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所	合 計	大 洲 消 防 署 本 署	長 浜 支 署	川 上 支 署	内 子 消 防 署 本 署	小 田 出 張 所
令和6年	3,955	2,205	470	241	878	161	3,733	2,081	437	230	838	147
令和5年	3,526	1,974	399	206	791	156	2,800	1,485	360	184	654	117
昨 年 比 増 減	429	231	71	35	87	5	434	231	75	33	85	10
							320	158	71	15	73	3

※ ▲は減

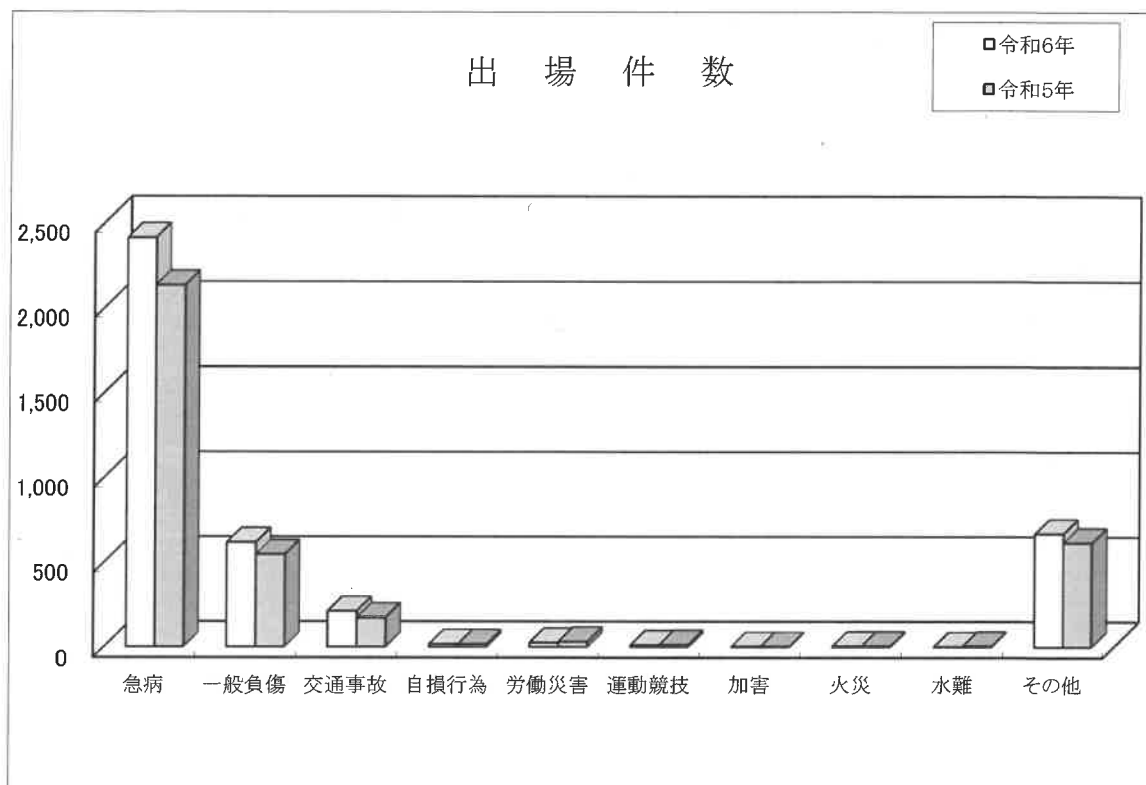
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

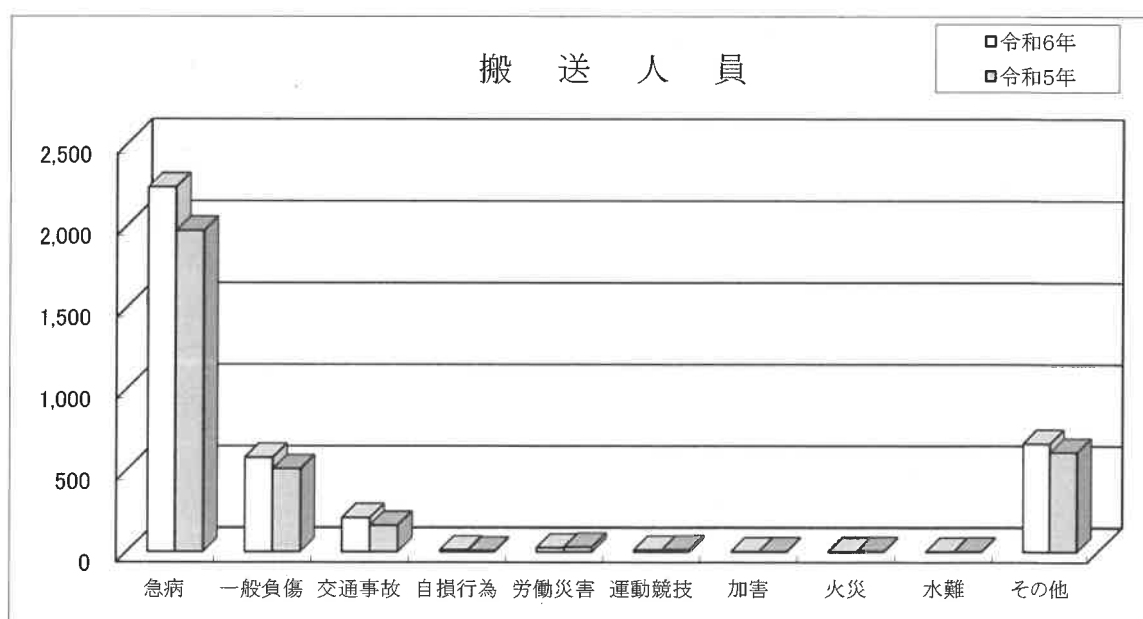
区分 事故種別	組						合						令和6年					
	出場件数		搬送人員		増減		大洲1		大洲2		長浜		川上		内子		小田	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年			出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
急病	2,406	2,128	2,233	1,967	266	1,015	934	196	181	300	325	182	172	581	548	107	98	
一般負傷	615	545	578	508	70	264	247	40	39	96	102	34	32	137	131	38	33	
交通事故	210	172	209	162	47	96	91	26	28	15	16	14	15	48	50	10	10	
自損行為	16	16	11	5	6	9	6	2	2	1	1	0	0	4	2	0	0	
労働災害	25	30	24	30	▲6	10	10	3	3	6	6	0	0	6	6	0	0	
運動競技	11	13	11	13	▲2	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
加害	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火災	4	4	3	3	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0	
水難	0	4	0	1	▲1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	667	613	663	609	54	286	283	245	244	20	20	10	10	100	100	6	6	
合計	3,955	3,526	3,733	3,299	434	1,692	1,583	513	498	470	437	241	230	878	838	161	147	

※ ▲は減

3表 事故種別出場件数・搬送人員



	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和6年	2,406	615	210	16	25	11	1	4	0	667
令和5年	2,128	545	172	16	30	13	1	4	4	613

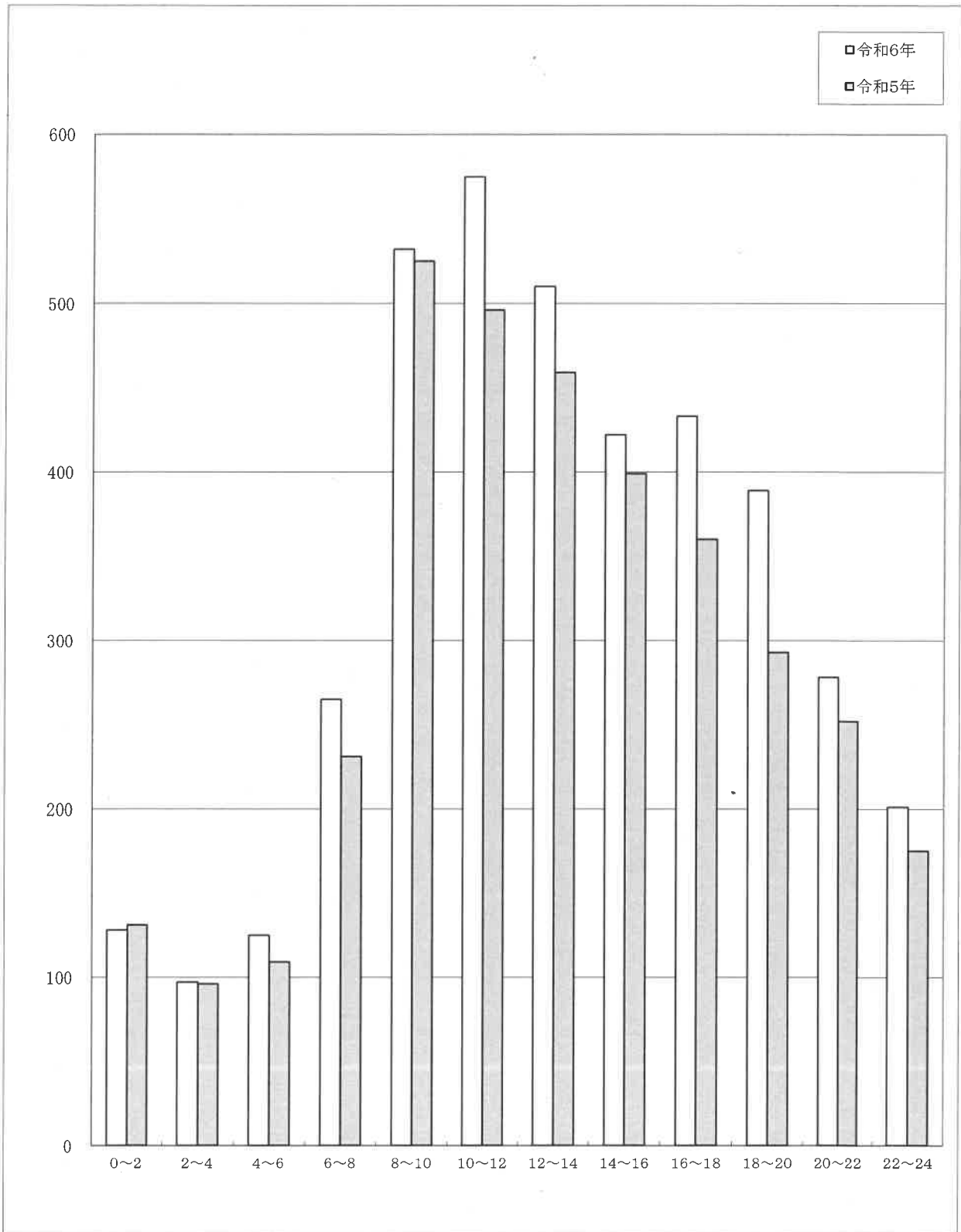


	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和6年	2,233	578	209	11	24	11	1	3	0	663
令和5年	1,967	508	162	5	30	13	1	3	1	609

4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大洲市				内子町			管轄外
		大洲	長浜	肱川	河辺	内子	五十崎	小田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急病	2,406	1,258	318	127	30	399	184	88	2
	2,233	1,160	292	118	29	383	171	79	1
一般負傷	615	318	99	24	5	91	45	33	0
	578	302	93	23	4	85	43	28	0
交通事故	210	134	15	9	0	31	13	5	3
	209	135	16	9	0	29	13	5	2
自損行為	16	11	1	0	0	3	1	0	0
	11	7	1	0	0	2	1	0	0
労働災害	25	14	6	0	0	4	1	0	0
	24	14	5	0	0	4	1	0	0
運動競技	11	9	0	0	0	2	0	0	0
	11	9	0	0	0	2	0	0	0
加害	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0
火災	4	0	0	0	0	1	3	0	0
	3	0	0	0	0	1	2	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	667	558	20	0	1	78	9	0	1
	663	555	20	0	1	77	9	0	1
合計	3,955	2,303	459	160	36	609	256	126	6
	3,733	2,183	427	150	34	583	240	112	4

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和6年	128	97	125	265	532	575	510	422	433	389	278	201
令和5年	131	96	109	231	525	496	459	399	360	293	252	175

6表 月別曜日別救急出場状況

曜 日 月	日	月	火	水	木	金	土	合 計
1 月	31	53	69	58	39	43	50	343
2 月	46	50	47	38	41	19	31	272
3 月	46	45	33	31	45	41	41	282
4 月	33	65	42	32	43	40	37	292
5 月	35	59	38	45	48	47	45	317
6 月	47	50	42	30	38	40	52	299
7 月	56	71	49	65	47	56	51	395
8 月	64	58	52	59	68	67	51	419
9 月	57	61	59	53	49	43	33	355
1 0 月	50	40	54	41	53	46	32	316
1 1 月	32	56	34	41	42	42	38	285
1 2 月	62	73	67	40	36	38	64	380
合 計	559	681	586	533	549	522	525	3,955

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	2,175	204	566	690	3,635
処置項目					
止血	10	21	61	10	102
固定	32	63	145	27	267
人工呼吸	50	1	3	5	59
心マッサージ	45	2	1	3	51
うち自動	25	2	0	1	28
心肺蘇生	64	1	8	3	76
うち自動	19	1	4	0	24
酸素吸入	492	12	44	228	776
気道確保	89	2	12	4	107
うち経鼻	0	0	0	0	0
うち異物除去	1	0	2	0	3
うちラリングアルマスク等	29	0	2	1	32
うち気管挿管	7	2	4	0	13
保温	1,524	97	373	528	2,522
被覆	8	25	85	17	135
在宅療法継続	2	0	0	0	2
点滴処置	0	0	0	0	0
外傷処置	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	2
除細動	5	0	0	0	5
静脈路確保	心肺機能停止前	8	2	3	13
	心肺機能停止後	33	2	6	42
	ブドウ糖投与	14	0	0	14
血糖測定	39	1	1	0	41
ブドウ糖溶液投与	13	0	0	0	13
薬剤投与	23	2	4	0	29
その他の応急処置	2,157	201	562	678	3,598
血圧測定	2,082	199	547	678	3,506
聴診器による聴取	331	30	41	23	425
血中酸素飽和度測定	2,100	201	553	684	3,538
心電図	715	16	67	182	980
合計	9,836	877	2,515	3,071	16,301

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別	事故種別	急 病		交通事故		一般負傷		その他		合 計	
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外
救急告示医療機関	国立	3	3	3	3	3	3	26	26	35	35
	公立	881	310	76	18	221	63	229	154	1,407	545
	公的	12	12	0	0	2	2	82	82	96	96
	病院	1,290	2	125	1	333	4	282	6	2,030	13
	診療所	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	計	2186	327	204	22	559	72	620	268	3,569	689
その他の医療機関	国立	4	4	0	0	0	0	7	7	11	11
	公立	19	19	5	5	16	16	80	80	120	120
	公的	2	2	0	0	0	0	1	1	3	3
	病院	2	2	0	0	0	0	5	5	7	7
	診療所	20	0	0	0	3	0	0	0	23	0
	計	47	27	5	5	19	16	93	93	164	141
計	国立	7	7	3	3	3	3	33	33	46	46
	公立	900	329	81	23	237	79	309	234	1,527	665
	公的	14	14	0	0	2	2	83	83	99	99
	病院	1,292	4	125	1	333	4	287	11	2,037	20
	診療所	20	0	0	0	3	0	1	0	24	0
	計	2,233	354	209	27	578	88	713	361	3,733	830
その他の場所	接骨院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	2,233	354	209	27	578	88	713	361	3,733	830

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市町	区分	人口 (人)	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	人口1,000人当りの発生件数(件)
大洲市	大洲	31,360	2,303	2,183	73
	長浜	5,427	459	427	85
	肱川	1,744	160	150	92
	河辺	509	36	34	71
内子町	内子	8,168	609	583	75
	五十崎	4,738	256	240	54
	小田	1,802	126	112	70
組合管内	53,748	3,949	3,729	73	
管轄外			6	4	
合計			3,955	3,733	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分	事 故 種 別										合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他
大 洲	0	0	0	57	2	2	240	0	1	848	412	1,562
長 浜	0	0	0	5	1	0	81	0	1	243	18	349
肱 川	0	0	0	3	0	0	20	0	0	97	0	120
河 辺	0	0	0	0	0	0	3	0	0	24	1	28
内 子	1	0	0	19	1	0	69	0	1	311	63	465
五 十 崎	0	0	0	4	1	0	37	0	1	136	8	187
小 田	0	0	0	1	0	0	21	0	0	66	0	88
その他(管轄外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	1	0	0	89	5	2	471	0	4	1,725	503	2,800

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市町	疾病分類	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	合計
		大洲	63	100	67	104	8	38	34	21	413
大洲市	長浜	24	22	20	41	1	10	13	2	110	243
	肱川	9	13	8	15	2	9	1	3	37	97
	河辺	1	1	5	4	0	3	0	2	8	24
	内子	24	41	32	41	0	21	16	5	131	311
内子町	五十崎	8	12	15	22	1	8	6	1	63	136
	小田	5	11	8	6	0	3	3	1	29	66
合計		134	200	155	233	12	92	73	35	791	1,725

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。